

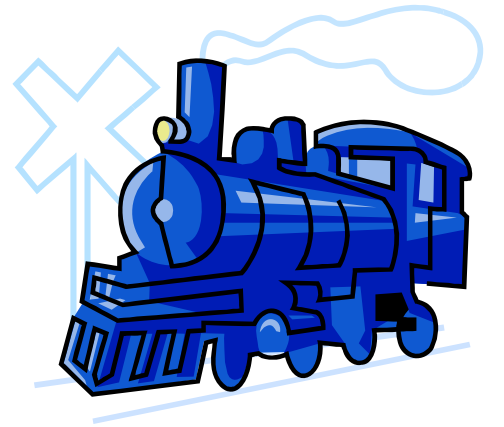
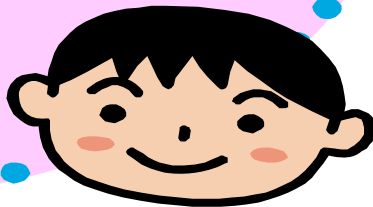
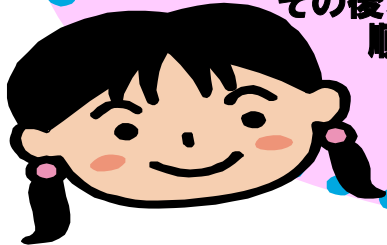


日銀金沢支店100年間の歩み



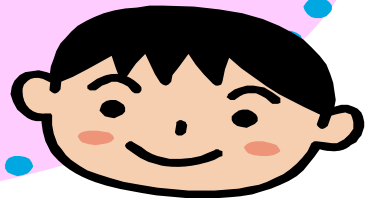
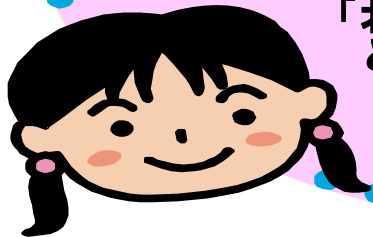
明治の初めの金沢

時代が江戸から明治に変わり、地名も「加賀の国」から「石川県」に変わりました。
 明治の初めの北陸地方は、鉄道がまだ通っていないで、米や絹織物（羽二重）など「モノ」を運ぶことがとても不便でした。
 その後、明治31年以降、北陸地方でも鉄道が順次開通していき、「モノ」の動きが活発になっていきました。



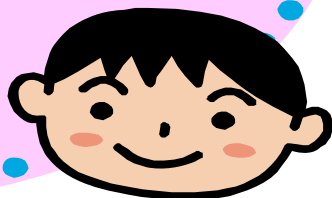
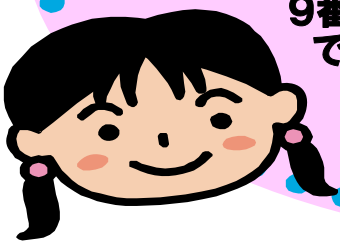
北陸に日本銀行の支店を！

鉄道の開通をきっかけに、「モノ」の動きが活発になったことにあわせて「おかね」の動く量も増え、北陸に有力な金融機関の支店が次々と営業を始めるようになりました。
 こうした変化もあって、会社を経営する人たちからは、「北陸地方にも日本銀行の支店を！」という声が各地で聞かれるようになっていきました。



金沢出張所の誕生

日本銀行は、北陸地方の経済や地域の特徴などを考え、明治42年(1909年)3月15日、金沢市 石浦町70番地(現店舗の地)に出張所を開設しました(2年後の明治44年6月1日には出張所から支店に変わりました)。
 日本銀行金沢支店は、全国の支店の中で9番目に開設された歴史ある支店です。



この写真は金沢出張所ができた当時の建物です。
 この建物は、東京駅や日本銀行本店などを設計された明治時代の有名な建築家 辰野金吾(たつの きんご) 博士に設計していただきました。

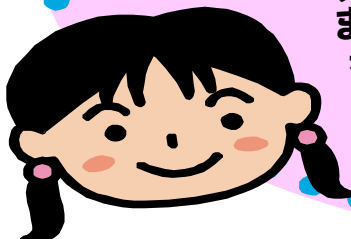


金沢支店 100歳

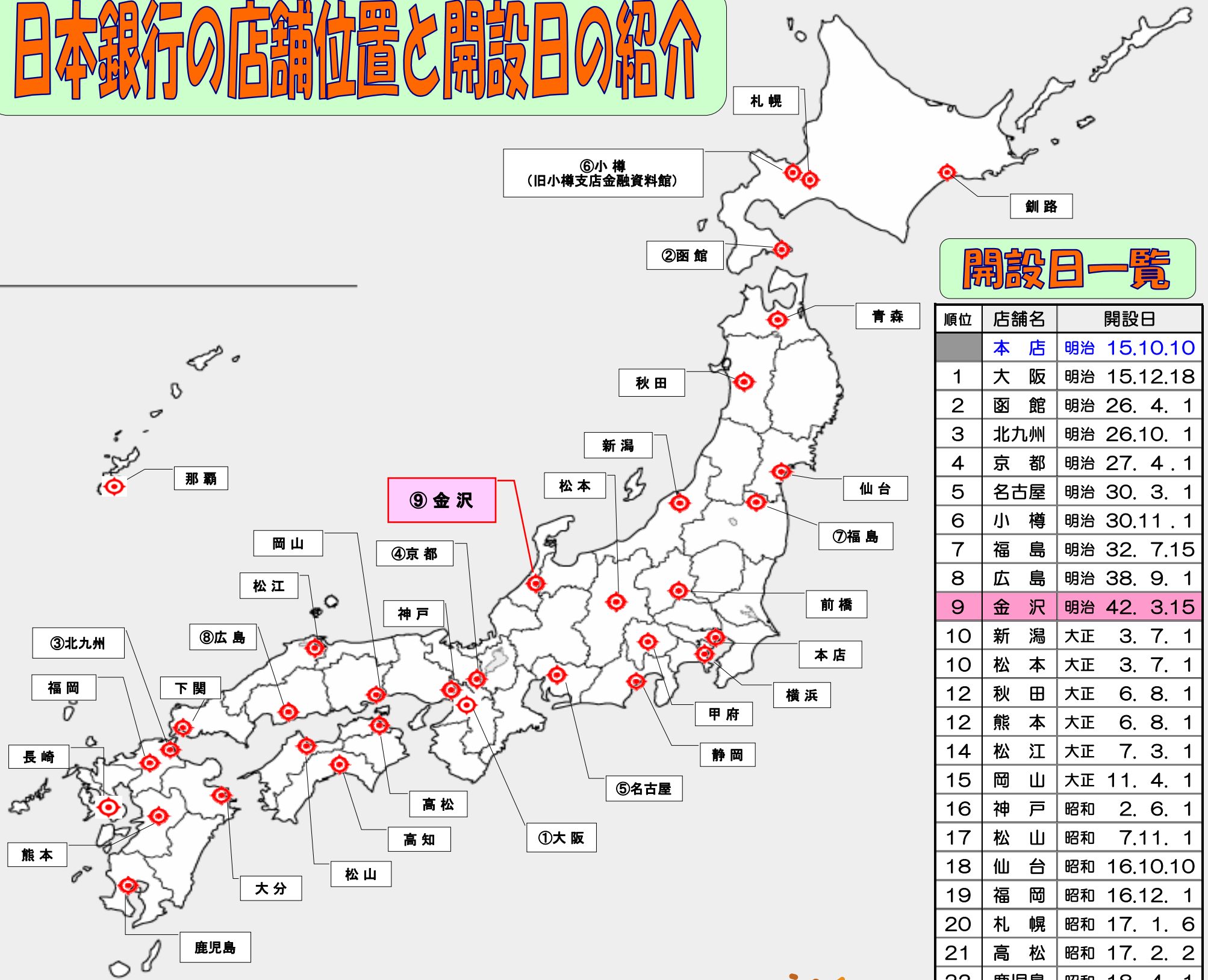
平成21年(2009年)3月15日、日本銀行金沢支店は、出張所として誕生してから100年を迎えることができました。
 これまでの100年の間、皆様に育てていただいたことに改めてお礼を申し上げます。
 また、これからも北陸の皆様と共に歩んでいきたいと思っています。



こちらの写真は現在の日本銀行金沢支店の建物です。
 香林坊のバス停前にあるよ！
 見たことあるかな？



日本銀行の店舗位置と開設日の紹介



開設日一覧

順位	店舗名	開設日
	本店	明治 15.10.10
1	大阪	明治 15.12.18
2	函館	明治 26. 4. 1
3	北九州	明治 26.10. 1
4	京都	明治 27. 4. 1
5	名古屋	明治 30. 3. 1
6	小樽	明治 30.11. 1
7	福島	明治 32. 7.15
8	広島	明治 38. 9. 1
9	金沢	明治 42. 3.15
10	新潟	大正 3. 7. 1
10	松本	大正 3. 7. 1
12	秋田	大正 6. 8. 1
12	熊本	大正 6. 8. 1
14	松江	大正 7. 3. 1
15	岡山	大正 11. 4. 1
16	神戸	昭和 2. 6. 1
17	松山	昭和 7.11. 1
18	仙台	昭和 16.10.10
19	福岡	昭和 16.12. 1
20	札幌	昭和 17. 1. 6
21	高松	昭和 17. 2. 2
22	鹿児島	昭和 18. 4. 1
23	静岡	昭和 18. 6. 1
24	高知	昭和 18.11.10
25	前橋	昭和 19.12.11
26	甲府	昭和 20. 7.23
27	横浜	昭和 20. 8.28
28	青森	昭和 21.11. 1
29	下関	昭和 22.12. 1
30	大分	昭和 23. 2. 2
31	長崎	昭和 24. 3. 1
32	釧路	昭和 27.10. 1
33	那覇	昭和 47. 5.15



マークについて

この「めだま」マークは、「日」という漢字の古代書体の一種で、日本銀行の行章（マーク）です。

みなさんも毎日目にしているお札（日本銀行券）にも印刷されているんだよ。

